

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																			
ET45H015		障害児心理アセスメント特論(Special Seminar in Psychological Assessment for Children with Special Educational Needs)					特別支援教育																			
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																				
選択	2	1	大学院教育学研究科			氏名 佐藤 晋治 E-mail ssato@oita-u.ac.jp 内線 7531																				
授業の概要	障害のある子どもの発達評価および、それに基づいた心理学的支援を論理的なものとするためのヴィゴツキーによる理論を学習する。																									
具体的な到達目標																	DP等の対応(別表参照)									
目標1 ヴィゴツキーによる理論について論理的に説明することができる。																	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標2 ヴィゴツキーによる理論を活用した発達評価を計画することができる。																										
目標3 その発達評価に基づいた支援を論理的に説明できる。																										
目標4																										
目標5																										
目標6																										
目標7																										
目標8																										
目標9																										
目標10																										
授業の内容																										
1 ヴィゴツキーの内言理論																										
2 ワーキングメモリ																										
3 内言とワーキングメモリ																										
4 活動理論の歴史的な外観																										
5 ヴィゴツキーと活動理論																										
6 模倣																										
7 体験(ペレジヴァーニエ)																										
8 学童期における知能発達の特徴																										
9 知能と他の諸機能との関連																										
10 自覚と随意性の発達																										
11 知覚、記憶の発達																										
12 自覚と習得と知能の関係																										
13 バフチンの人格論																										
14 ヴィゴツキーの人格論																										
15 動機から内言へ																										
ラーニング	A:知識の定着・確認	演習,小テスト,小レポート,予習,復習,宿題,調べ学修(論文,書籍,インターネット等)					工夫 その 他の	動画の活用, LMS(Moodle)の活用																		
	B:意見の表現・交換	プレゼンテーション, 学びの省察,																								
	C:応用志向	ロールプレイ																								
	D:知識の活用・創造																									
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	Moodleに掲載された講義資料を事前に予習し, 必要に応じて, 論文, 書籍, インターネット等により「調べ学修」に取り組むこと(1週あたり90分)。																								
	事後学修	講義で学習した内容を振り返り, 講義で扱った内容や関連する課題について論文, 書籍, インターネット等により「調べ学修」に取り組むこと(1週あたり90分)。																								
教科書	必要に応じて「ヴィゴツキー学(ヴィゴツキー学協会研究誌)」を中心としたプリントをMoodle上で配付する。																									
参考書	必要に応じて, なるべく最新のものをMoodle上で紹介する。																									
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10														
	定期試験	60%																								
	討論への積極的な参加	20%																								
	小レポート	20%																								
注意事項	講義内でMoodleを使用することがあるので, Moodleを閲覧できる媒体(スマホ, タブレット端末, ノートPCなど)を持参すること。また少なくとも週に1度はMoodleのこの科目のページを閲覧すること。																									
備考																										
リンク	URL																									